

(平成 24 年 9 月試験研究業務月報)

試験研究課題：「ブロイラーへの全粒小麦、全粒玄米給与によるカンピロバクター感染抑制効果」FS 研究

研 究

全粒粳米はブロイラーの筋胃を発達させる

鶏は歯がないので食物を筋胃ですりつぶします。当センターでは、飼料の粒度の違いによって鶏の筋胃の発達が異なり、トウモロコシ飼料に比べて粒度の粗い全粒粳米を給与した場合、筋胃が特に発達することを確認しました。筋胃の発達した鶏は、細菌が口から侵入しても、活発に動く発達した筋胃の中で胃酸と接触する機会が増えると考えられ、全粒粳米給与による殺菌効果が期待されます。

今後は、食中毒細菌のカンピロバクターの侵入を想定し、感染抑制効果について検討します。



(左) 粳米飼料 (右) トウモロコシ飼料

給与飼料によって変化する筋胃

給与飼料の違いによる筋胃の体重比

処理 (主体となる飼料原料)	筋胃の体重比(%)	
	4週齢	6週齢
トウモロコシ	1.6±0.1	1.4±0.2
全粒粳米	2.6±0.4	2.1±0.3
全粒小麦	2.1±0.1	1.5±0.1
全粒玄米	1.6±0.2	1.1±0.1

畜産センター